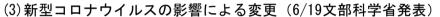
# M』進路通信

## 群馬県立前橋女子高等学校 進路指導部 令和2年7月15日(水) No.3号

## 今年度の大学入試

- (1)名称変更
- □AO入試→総合型選抜
- □指定校・公募推薦→学校推薦型選抜 (学校長の推薦必要)
- □大学入試センター試験→大学入学共通テスト
- (2) 大学入学共通テスト・・・センター試験からの変更
- □リーディングとリスニングの配点比 1:1 ※大学ごとに配点比率は決められる
- □数学①の試験時間 70分 ※センター試験は60分



①大学入学共通テストの日程【今年度の特例措置】

第1日程 1/16, 17

第2日程 1/30.31 (第1日程の追試を兼ねる)

特例追試 2/13.14

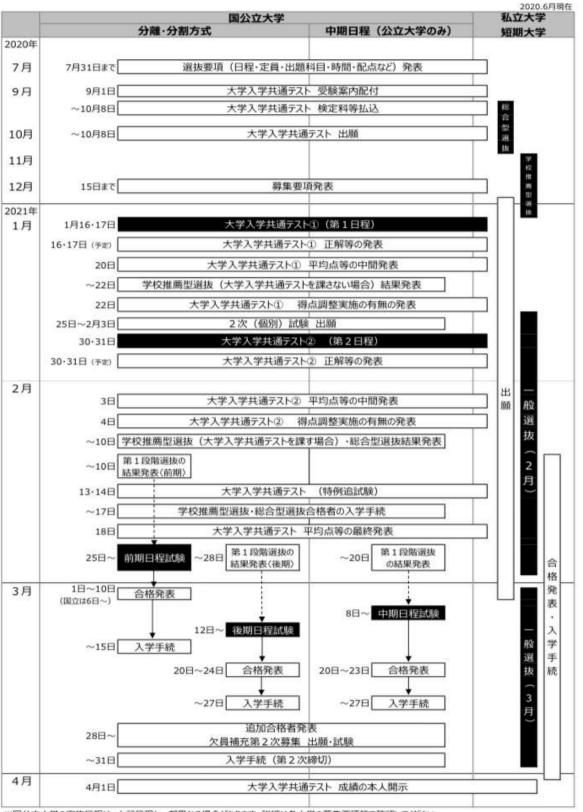
- ・「第1日程」「第2日程」という2つの試験日程が設けられ、現役生は出願時(9/28~10/8)に選択(既卒生は第2日程の選択は不可)。
- ②受験生に不利益が出ないよう各大学に追試や試験範囲の変更の検討を要請 →大学は検討し、7月中に発表

### ◎文部科学省の発表を受けての前女進路指導部の戦略

- ①戦略的に考えると「第1日程」で行かせたい(有利と考える)
  - 理由・国公立2次試験のウェートが高い生徒が多い
    - 第2日程を選択した場合(のデメリット)、
    - →私大一般、2 次試験までの日数が減るので私大や 2 次対策の日数が取れない
    - →第1日程試験後、「特編」に切り替えるが、第2日程だと切り替えられない
    - →自己採点リサーチは第1日程のみ。リサーチの判定なし
    - →国公立出願は1/25~2/3。出願に向けて十分に検討する時間がない。
    - →第1日程の会場は前女の可能性高いが、第2日程は群馬の会場だが前女の確率は低い
    - ・△「第2日程の難易度は第1日程と同じとし、得点調整はしない」とあるが・・ 例年の追試の問題は本試験より難しいから第2日程の問題もそうなるので は?(各方面からの推測・・・しかし、これは蓋を開けてみないとわからない)
    - ※第2日程のメリット?・・・共通テストそのものが初めてなので、問題を見られる第2日程の方が有利か?
- ②大学入学共通テストは第2日程を設けたことで、試験範囲の変更・縮小はない 私大は「追試」を設ければ、日程変更、試験範囲の変更・縮小はないと思われる
  - →例年通りの入試日程と考え、範囲をしっかり仕上げていくことが合格への近道

#### 2021年度入試 スケジュール

(6/30 河合塾作成)



- ※国公立大学の実施日程は、上記日程と一部異なる場合があります。詳細は各大学の募集要項等で確認してください。
- ※私立大学・短期大学の出願期日・試験日・合格発表日等は各大学で設定されています。
- ※私立大学の総合型選抜は夏以降、年間を通じて実施されています(原則9月以降出願スタート)。詳細は各大学の襲集要項等で確認してください。